

茅ヶ崎市生活支援体制整備事業

－アンケート調査結果(確報)について－



令和元年11月14日(木)
茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室3

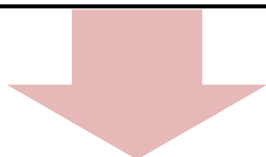
目次

- 1．これまでの経緯（アンケート実施～確報作成まで）
- 2．確報の概要
- 3．確報（市域版）
- 4．確報（地区版）

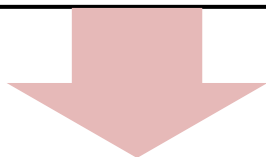
1. これまでの経緯 (アンケート実施～確報作成まで)

1. これまでの経緯

①外出に関するアンケート調査実施



②アンケート調査結果(速報)配布



③アンケート調査結果(確報)作成

1. これまでの経緯

①外出に関するアンケート調査実施

- 【目 的】 要支援認定を受けている方の日常生活に必要な「外出」や「移動」に関する困りごとを把握するための基礎資料とする
- 【期 間】 平成31年1月24日～2月20日
- 【対 象】 1,300人
(平成30年12月時点で要支援認定を受けている方)
- 【回答数】 815人(回答率:約63%)

1. これまでの経緯

②アンケート調査結果(速報)配布

- ・アンケート調査の単純集計結果を速報として配布
(平成31年3月28日 茅ヶ崎市生活支援体制整備事業報告会)
- ・速報であるため、内容は主に市域全体の集計結果

2. 確報の概要

2. 確報の概要

確報作成の目的

アンケート調査結果を地区で活用しやすい形にする



たとえば・・・

- ・地区ならではの困りごとの傾向を掴む一つの視点
- ・地区の高齢者が必要としている支援策を考えるヒント
- ・各地区での取り組みを推進するための基礎資料

として活用していただくことを想定

2. 確報の概要

確報の特徴

地区で活用いただくために・・・

- ・市域全体に加え、地区別の集計結果と傾向を掲載
- ・【市域版】と【地区版】を作成

市域版



地区版
(13地区分)



2. 確報の概要

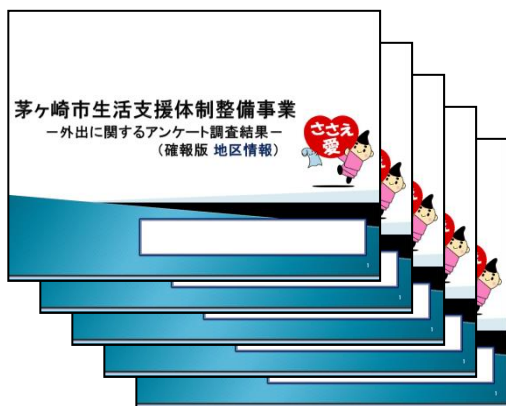
【市域版】と【地区版】について

市域版



- 地区版の基となる情報
- 市域の集計結果については細部まで掲載
- 地区別についても基本的な集計は網羅
- 細部まで確認しやすい報告書形式

地区版



- 地区別の詳細な集計結果を掲載
- 地区ごとの傾向を掲載
- 地区でのプレゼンに適した形式

3. 確報（市域版）

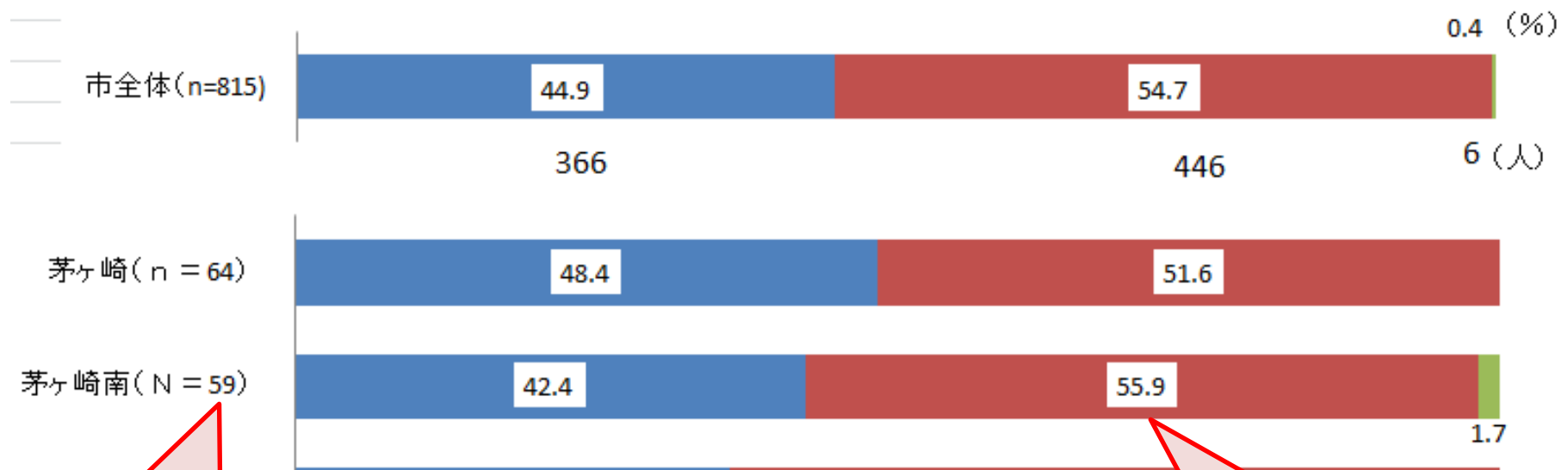
3. 確報(市域版)

市域版の構成

1. 外出に関するアンケート調査結果(確報版)の概要
2. 市域全体に関する集計結果
3. アンケート調査票
4. 参考資料

3. 確報(市域版)

集計結果の見方 ①

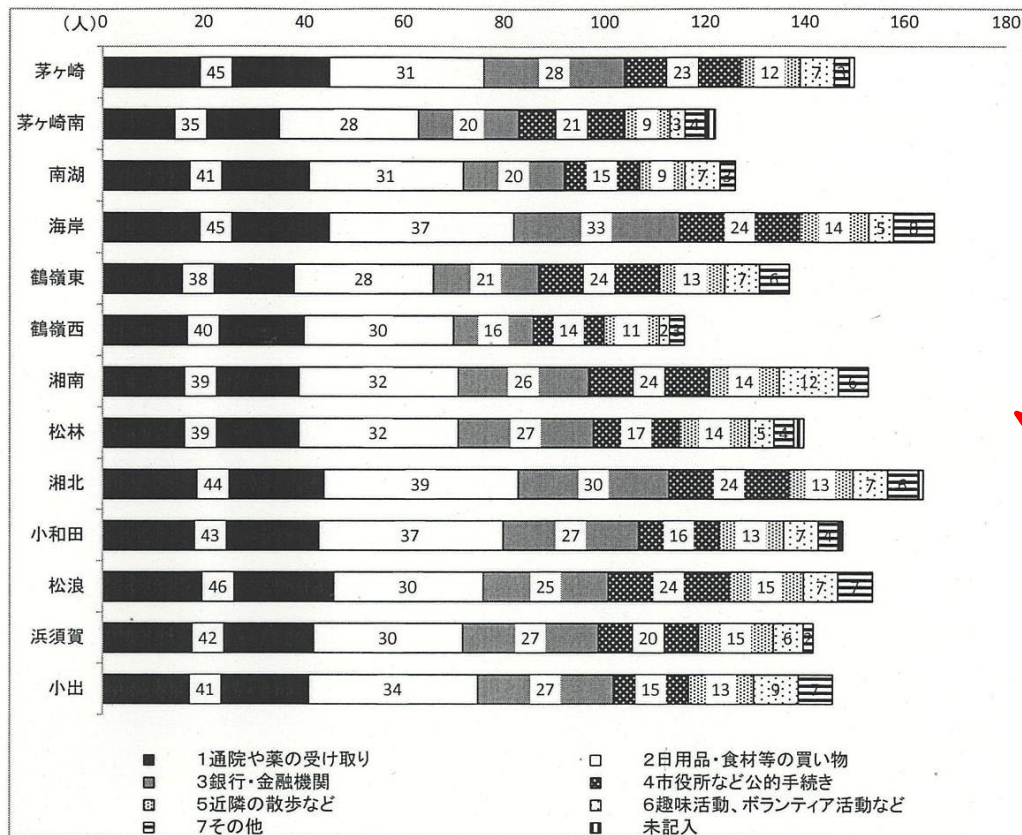
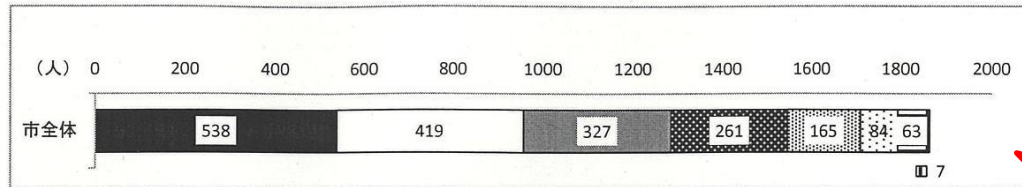


各地区の回答数

回答数に対する
回答割合

3. 確報(市域版)

集計結果の見方 ②



出かけることに大変さを感じることもある場合に、大変だと感じる行先を伺いました

市全体では、最も多いのが「通院や薬の受取り」、その後「日用品・食材等の買い物」、「銀行・金融機関」「市役所など公的手続き」「近隣の散歩など」「趣味・ボランティア活動など」と続きます。

地区ごとに見ても、最も多いのは「通院や薬の受取り」、次に「日用品・食材等の買い物」です。
3番目は、ほとんどの地区で「銀行・金融機関」ですが、茅ヶ崎南地区・鶴嶺東地区では、「市役所などの公的手続き」が3番目です。

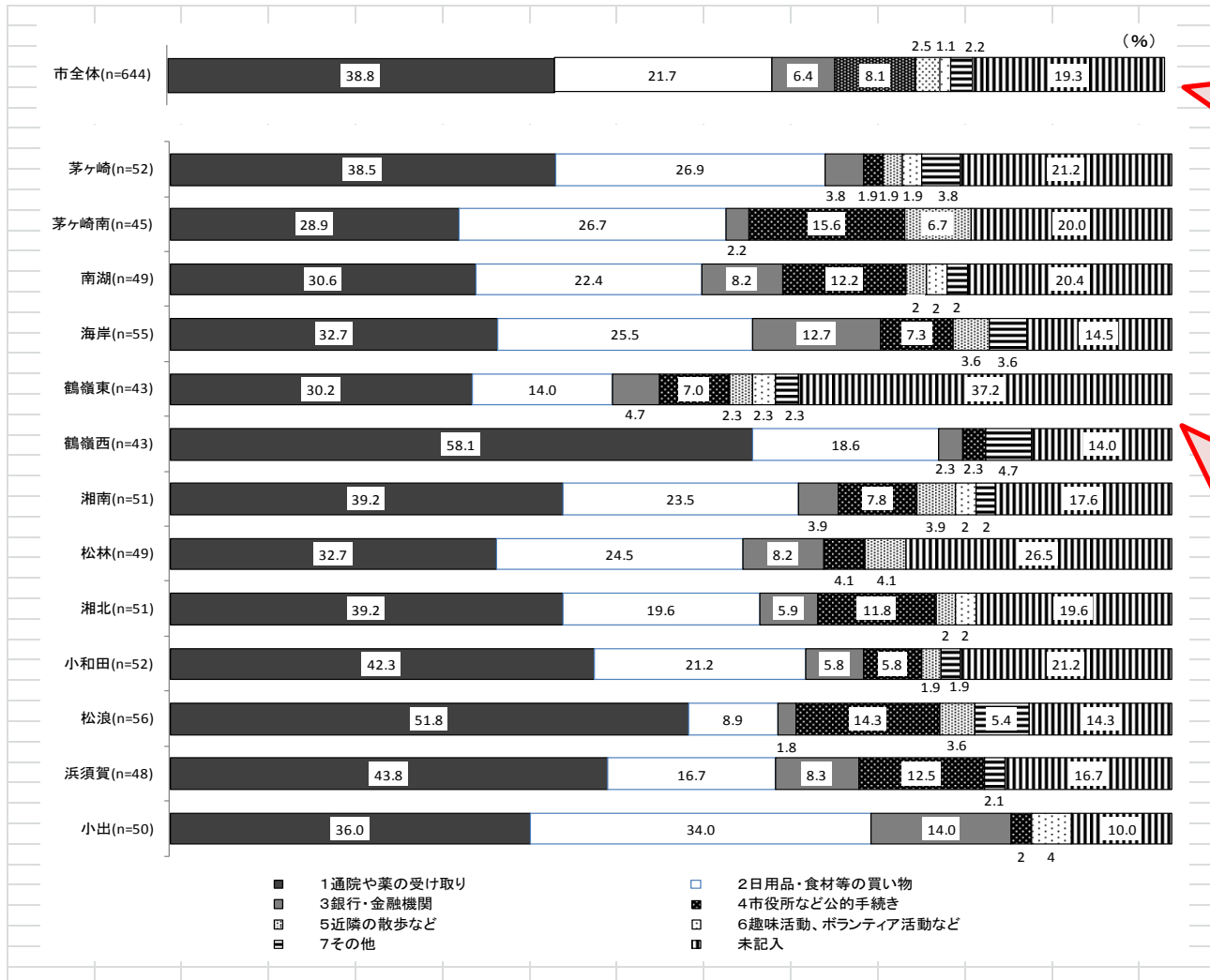
3. 確報(市域版)

集計結果の見方 ③

特に大変だと思う行先の1位を伺いました

市全体では、最も多かったのは「通院や薬の受け取り」、2番目は「日用品・食材等の買い物」です。
3番目は、「市役所など公的手続き」です。

地区ごとに見ても、最も多いのは「通院や薬の受け取り」です。
鶴嶺西地区は、特にその傾向が強く出ています。
小出地区、茅ヶ崎南地区では、最も多い「通院や薬の受け取り」と、2番目に多い「日用品・食材等の買い物」と回答した人数がほぼ同じです。
2番目以降は、地区によっては市全体とは異なる結果が出ています。



3. 確報(市域版)

集計結果の見方 ④

①出かける頻度	1週に4回以上	15
	2週に2～3回	50
	3週に1回	58
	4月に1～2回	237
	5その他	49
	未記入	10
②主な時間帯	1早朝(8時以前)	14
	2午前中	313
	3午後	79
	4夕方(17時以降)	1
	未記入	13
③交通手段	1徒歩	108
	2自転車	20
	3バス(路線・えぼし号・予約乗合)	87
	4施設・店舗の無料バス	24
	5自分で運転する車	21
	6家族等が運転する車	166
	7タクシー	156
	8福祉タクシー	14
	9その他	27
	未記入	9
④理由	1距離が遠い	126
	2交通が不便	77

出かけるのが特に大変な行先を1位から3位まで選び、出かける頻度や時間帯等を伺いました

1位～3位のいずれかに「通院・薬の受け取り」と回答し、かつ「通院・薬の受け取り」に出かける頻度が「月に1～2回」と回答した人数が237人でした。

4. 確報（地区版）

4. 確報(地区版)

地区版の構成

1. 外出に関するアンケート調査の概要
2. 地区版の活用について
3. アンケート結果から見る地区の状況
4. 参考資料

4. 確報(地区版)

確報<地区版>について

今回、調査結果の確報の発行と合わせて、地区別で結果を見ることができるよう<地区版>を作成しました。

分析・考察は、茅ヶ崎市社会福祉協議会の第2層地域支援会推進員(地区担当職員)が、各地区の地域包括支援センターのご協力を得て担当しました。

活用
の
ねらい

この <地区版>は、

- ◆市全域の傾向だけでは見えにくい、地区ならではの困りごとの傾向を掴む一つの視点として
- ◆どのような支援が求められるかの話し合いなど、各地区での取り組みを考えるためのヒントとして

ご活用いただけると良いと考えています。

4. 確報(地区版)

確報＜地区版＞の活用にあたって

- * ＜地区版＞は、別冊の確報とあわせてご活用ください。
- * 基本項目 (調査票 問2～4より)
介護認定関連項目 (調査票 問5～7より)
外出関連項目 (調査票 問8、13より)
の個別の結果については、数字から読み取れる事柄を主に示しています。
- * ≪市全域との比較≫については、確報(市域版)に記載している数との比較で示しています。
- * ≪全体考察≫については、調査が「外出・移動」に関する内容であることから、各地区の地理的・環境的な要素等も踏まえた考察を示しています。

★市域版をあわせて見ることで比較も

★地区ごとの環境を踏まえた考察も

4. 確報(地区版)

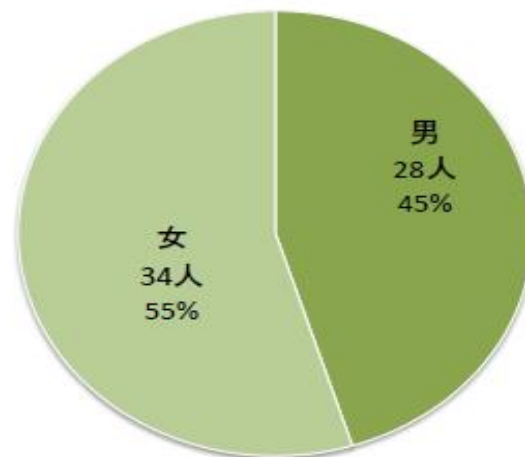
★地区ごとの回答数をもとに
割合や実数で表示

A 地区

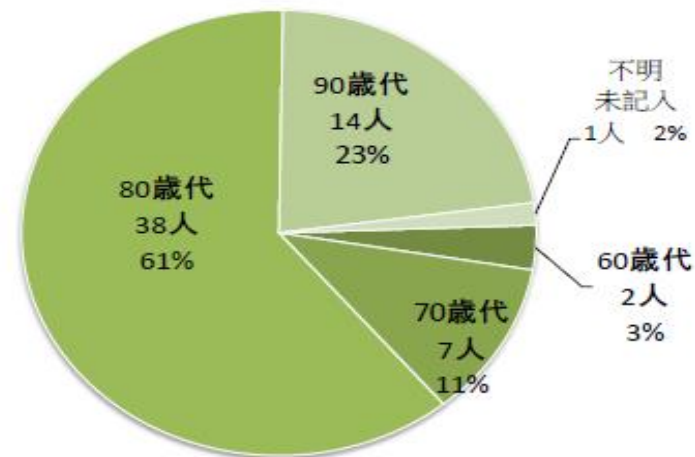
【回答数：62人／100（問1）】

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



問3 あなたの年齢はおいくつですか



4. 確報(地区版)

A 地区

★各回答の数値から
読み取れる内容

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 市域での結果とほぼ同様。(問5・問6-2)
介護保険サービスの利用率は81%と高いほうと思われる。
- 申請理由が「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」の回答が一番多い。(問6-2・問7)

A 地区

★地区の環境的な特徴も
踏まえた全体考察

《全体考察》

- 同居等の状況やサービス利用率などをあわせて見ると、子と同居の世帯も少なくないものの、日中独居など日常の支援が思うようには得られていない世帯も多くあると推察される。近年は、広い家屋敷が(分割・分譲)売却されるほか、空き地・空き家も増えている。残るのは高齢者が多く、独居高齢者も増える傾向にある。
- 交通については、茅ヶ崎駅南口、辻堂駅南口の間を横に通るバスが地区内の主線。平坦地のため、足腰に支障がなければ徒歩・自転車で移動する人は多く見られ、今回の調査でもその傾向はうかがえる。

4. 確報(地区版)

地区版は・・・

それぞれの地区では

地区の方々と一緒に見ながら、
外出にかかわる現状と課題を知り、
必要なこと、地区の人たちで工夫できそうなこと
などを考えていく

第1層協議体では

- それぞれの地区で一緒に考え、
専門機関、施設・事業所等の機能を活かして
連携、協力できることを教えてください
- 市域としての課題の捉え方
共通の課題、必要なこと、できそうなことは…？